

# モニタリング結果報告書 (平成27年度)

## 1. 施設概要

施設名	愛川ふれあいの村		
所在地	愛甲郡愛川町半原3390番地		
サイトURL	<a href="http://fureai-aikawa.com">http://fureai-aikawa.com</a>		
根拠条例	神奈川県立のふれあいの村条例		
設置目的(設置時期)	児童、生徒、青少年等が自然の中での体験及び人との交流を通じて自立心、協調性等をはぐくむための活動を促進すること (平成5年4月)		
指定管理者名	東急コミュニティー・国際自然大学校グループ		
指定期間	H23. 4. 1～H28. 3. 31	施設所管課	子ども教育支援課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>「利用状況」がA評価、「利用者の満足度」がS評価、「収支状況」がA評価となり、3項目評価の結果はAとなった。</p> <p>管理運営等の状況、労働環境の確保に係る取組状況等に特段の問題は無く、全般的に良好な管理運営がなされている。</p> <p>今後も施設の機能を活かし、利用者が自然にふれあう体験活動を実施できるよう事業を継続するとともに、更なる利用者の拡大に努めてもらいたい。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <p>◆管理運営等の状況 施設・設備の維持管理を適切に実施するとともに、主催事業を計画どおり実施し、参加者から好評を得た。また、管理業務の効率的・効果的な運営を目的として、施設の老朽化に伴い雨漏りが発生する宿泊棟の修繕工事を実施し、利用者のサービス向上につなげた。</p> <p>◆利用状況 ホームページや広報誌等の広報活動に積極的に取り組んだ結果、目標対比で0.4%のプラスとなったため、A評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 利用者が施設を利用する都度、調査を実施したところ、上位2段階の回答割合が91.8%となったため、S評価となった。</p> <p>◆収支状況 施設の老朽化に対応し修繕を実施する一方、その他の経費については運営努力により支出を抑えた結果、収支比率が102.61%となったため、A評価となった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	

3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

## 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">無</span>	指導・改善勧告等の内容

#### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
・安全で快適な施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じて計画的に植栽管理や除草作業を実施した。</li> <li>・建物設備の日常・定期点検と小破修繕を行った。</li> <li>・管理業務の効率的・効果的な運営を目的として、宿泊棟1棟（りんどう3）の雨漏り修繕工事を実施した。</li> <li>・かわせみ棟の経年劣化に伴い給配水管及び機器の修繕を行った。</li> <li>・倒木の危険を防止するため、立ち枯れ立木を伐採し、また土砂流失を防止するため、土留め工事、側溝浚渫を実施した。</li> </ul>	施設の老朽化に伴い、宿泊棟の雨漏りが頻繁に発生していたが、修繕工事の実施により、利用者のサービス向上につながった。
・宿泊施設や食堂施設の衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊棟の清掃点検を重視し、消毒や寝具乾燥を定期的実施した。</li> <li>・浴室設備の点検や水質検査を適切に行った。</li> <li>・食堂・厨房施設の日常自主点検や外部機関による定期検査を実施した。</li> </ul>	
・利用者サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の活動支援ツールの充実と周辺施設に関する情報提供の強化を行った。</li> <li>・利用団体間の活動の調整や助言を適切に実施した。</li> <li>・職員の接遇能力向上やプログラムスキルの向上のための訓練や研修・情報共有活動を強化した。</li> </ul>	
・特色ある主催事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども対象、親子対象など、計15件の主催事業を実施し、募集定員を超える応募や参加があった。</li> <li>・施設の特性を活かした体験プログラムを展開し、参加者の満足度も高かった。</li> </ul>	
・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年11月に実施している「紅葉まつり」は地域にも定着し、地元の多くの団体から参加・協力をいただいた。</li> <li>・中学生の職場体験やボランティアの受け入れを通じて、施設への親近感を育み、自然体験活動への理解・関心を深めた。</li> <li>・愛川町の広域避難所として、地域に貢献する施設であることをアピールした。</li> </ul>	

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等

## 5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	132,302	133,716	132,483
対前年度比		101.1%	99.1%
目標値	132,000	135,000	132,000
目標達成率	100.2%	99.0%	100.4%

目標値の設定根拠： 前年度の利用者数を基に、学校の児童数減少を考慮して設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書に記載された人数の合計（利用者）

[ 参考：最大利用可能人数／年 ]

	宿泊定員					合計
定員	450					
年間利用可能日数	358					
最大人数※	161,100	0	0	0	0	161,100
稼働率	41.60%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

## 6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	利用者が施設を利用する都度、アンケート用紙を利用者に配布し、調査する	サービスの向上に努めた結果、上位2段階の割合が91.8%と高い評価を得ている。

[ 施設としての総合的評価 ]

質問内容 この施設をまた利用したいと思いますか

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 789 / 908 = 86.9%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらとも いえない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答 があった 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	337	311	53	4	1	706	
回答率	47.7%	44.1%	7.5%	0.6%	0.14%		
前年度の 回答数	321	295	56	0	1	673	
前年度回答率	47.7%	43.8%	8.3%		0.15%		
回答率の 対前年度比	100.1%	100.5%	90.2%	#VALUE!	95.3%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[ 参考：職員の対応状況 ]

質問内容 スタッフの対応について印象をお聞かせください

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 789 / 908 = 86.9%

配布(サンプル)対象 利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらとも いえない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答 があった 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	552	131	63	2	3	751	
回答率	73.5%	17.4%	8.4%	0.3%	0.4%		
前年度の 回答数	546	112	57	3	0	718	
前年度回答率	76.0%	15.6%	7.9%	0.4%			
回答率の 対前年度比	96.7%	111.8%	105.7%	63.7%	#VALUE!		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[ 参考：その他 ]

## 7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	133,288	2,355			135,643	135,643	0	100.00%
	決算	133,288	2,876			136,164	133,287	2,877	102.16%
前年度	当初予算	137,097	2,468			139,565	139,565	0	100.00%
	決算	137,097	2,872			139,969	134,609	5,360	103.98%
27年度	当初予算	137,097	2,468			139,565	139,565	0	100.00%
	決算	137,097	3,123			140,220	136,659	3,561	102.61%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 1,000千円以上 )

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

## 10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。